はんだ市議会だより

NO. 244
令和8年
11月1日発行

はんだ市議会だより

地域の笑顔のために

みんなでつくる、あたたかい居場所



こども食堂　おっかわちょっこり









お知らせ!!

★市政を問う
　一般質問　（6名）
★議案の審議結果

- 決算認定議案の審査
- 議会事業評価の結果
- 特別委員会の年間調査テーマ
  - 共生のまちづくり推進調査特別委員会
  - いじめ解消調査特別委員会
- 議員勉強会

市政を問う 一般質問



9月定例会

6月定例会では、6月16日、17日に9名の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と市長を始めとする市当局の答弁（要旨）は次のとおりです。

※質問、答弁の詳細は8月20日頃から半田図書館・亀崎図書館等に配置された会議録でご覧いただけます。また、9月上旬には、市のホームページでもご覧いただけます。
※議員ごとにYou Tubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

会議録へ

※質問者の写真右上のマークは、質問の内容を表しています。（子【子育て】、教【教育】、福【福祉】、ま【まちづくり】、産【産業】、観【観光】、他【その他】）

8月27日、28日に6名の

11月20日頃

12月上旬

放課後ひろばに関する質問

別紙参照

エンディングノートの作成に関する質問

別紙参照

子 有留麻由議員（無所属）

子育てしやすい環境づくりに向けた乳幼児の睡眠

問 睡眠が子どもや保護者に与える影響について見解を伺います。

答 乳幼児の睡眠の悩みの原因は多岐にわたり、様々な要素が関係しているため、個々の相談内容に応じて、助言や支援を行っています。

問 乳幼児の睡眠に特化した専門的知見を持つ講師から保護者等が学ぶ機会を拡充する考えはあるか伺います。

答 現在は保育士や保健師が講師となり、子育てに関し様々な講座を行っています。これらの講座には乳幼児の睡眠に特化した内容を組み込んでいませんが、保護者から子どもの睡眠について相談があった場合は、保育士や保健師が不安の解消に努めています。今後は既存の講座の中で乳幼児の睡眠に関する知識や情報を分かりやすく提供できるよう内容の充実を図っていきます。また、専門家による講演等については実施の妥当性について考えていきます。



福 岩田玲子議員（創造みらい半田）

子どもの権利保障を基盤とした「生きる教育」の推進

問 半田市の権利保障や子ども…益を学校…ように位置…か。

答 子どもの…であり、令…定した第2…NDAプラ…の権利条約…し、児童生…にした教育…階に応じた…本的人権…む」として…体を通じて…として位置…ます。

問 教職員…あたり、…SRHR…や性、そ…充実に…権利や…からだ…について…て、自分自身で考え、選択し、決定するための健康と権利）の視点を持つ専門家と連携していく考えはありますか。

答 教職員研修については、市民協働課の研修が、子どもの権利やSRHRに関する専門家による講演会となっています。今後も子どもの権利保障やSRHRに関する専門家との連携などに努めていきます。



問 宮池小学校が実践している包括的性教育を他校でも実施したいという声が上がった場合、講師の派遣や研修機会の確保など、教育委員会として必…援を行っていく考…ますか。

答 …ら問い合わせや要…ましたら、教育委…して、でき得る限り…していきます。

高齢者の肺炎球菌の予防接種に関する質問

福

坂井美穂議員（公明党）

意思疎通支援事業における手話通訳派遣制度

問 手話通訳者の派遣について、基本的な考え方を伺います。

答 日常生活に必要な情報や意思疎通を支援し、障害や権利擁護を図ることを目的としています。

問 派遣の仕組みを検証する仕組みを伺います。

答 現在、仕組みはありませんが、派遣対象外としは、派遣対誤内で情報共有しについて制や方法いきます。

問 申請期の取り扱のようか伺います

答 期限を過に却下せ

ぎた場合ず、事情に応じた柔軟な対応をしています。緊急時には事後の申請も認めており、今後は要綱にも明記していきます。

派遣業務の一括委託について見解を伺います。

問 派遣業務の一括委託について見解を伺います。

答 一定の効果はあると考えますが、現時点で一括委託の予定はありません。他市の先進事例を参考に、調査研究していきます。

問 今後の派遣制度の見直しについて伺います。

答 今年度中に関係団体等と意見交換を行い、派遣対象範囲、緊急時の事後申請、社会参加の対象整理、判断基準の明確化について協議していきます。第三者による検証機能の整備までは考えていませんが、関係団体と情報を共有しながら検討を進めます。

別紙参照



膵臓がんの早期発見に関する質問

福

麻生七海議員（公明党）

自治区内の負担軽減サポートで持続可能な自治活動を！

問 市が体業務を精査し、自担を軽減持続可能ながると市としてす。

答 これま数削減やの見直しましたが業務を行い、に努めて

問 自治区足の原因を軽減す子回覧板ど、ICT務の効率を補助すべきと考えますがいかがですか。

答 ICTを活用すれば業務の効率化が図られ、負担軽減につながるものと考えています。現時点では、ICTに特化した新たな助成制度を導入する計画はありませんが、今後も引き続き、自治区がICT導入について検討できるよう、情報を収集し、展開を図っていきます。

別紙参照

問 自治区の負担軽減及び活性化に関する事例集やガイドラインの作成、公開など、市の持っている情報や知識を共有できる支援を積極的に行って欲しいと考えます。半田市としての考えを伺います。

答 今後は自治区の区長のみならず、広く市民に共有し、知いただけるよう、準備が整い次第、ホームページに掲載し、発信していきます。



災害対策に関する質問

ま

伊藤正興議員（チャレンジはんだ）

地区公園の管理

問 今後も公園管理費の増加が見込まれ、管理の合理化が必要と思いますがいかがですか。

答 専門業者による業務委託と直営を合わせ、今な維持管理ていきます。

潮風の広場の多目的広場

問 潮風の広場はど整備されましたか。

答 近年、3人制バーボードや3人制バーボールなどの都市スポーツへの関心が高まからの要望や意見を踏まえ、誰もが都市型スポーツなどに親しめる環境を確保するために整備することとしました。

別紙参照


コンテナ型トイレ

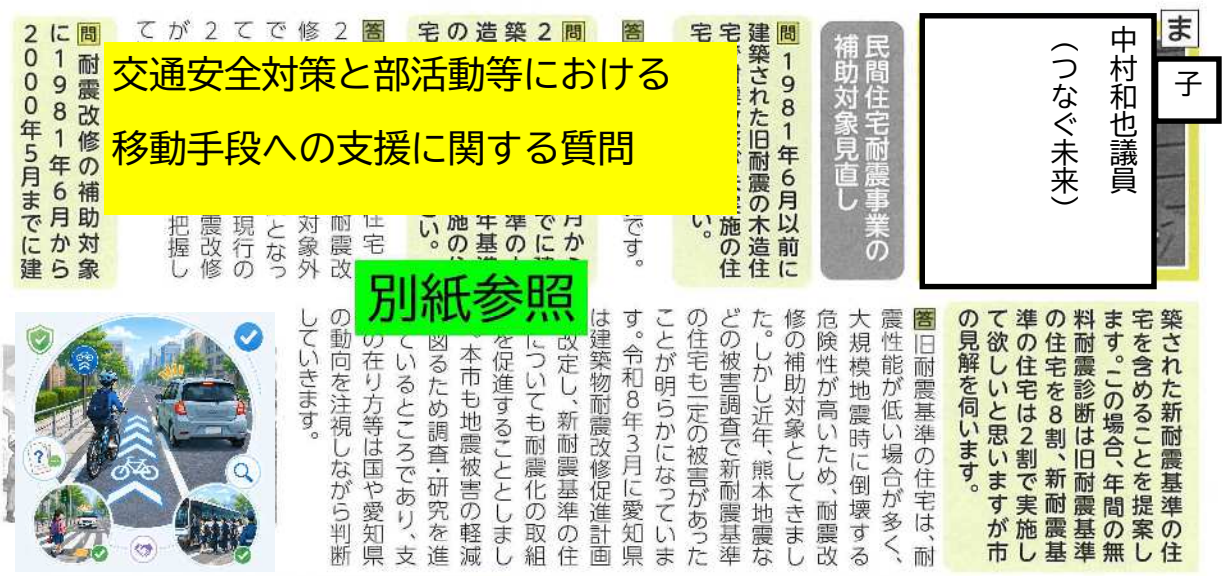
記念植樹の補助

問 記念植樹補助事業が始まった経緯とこれまでの実績を伺います。

答 昭和62年に制定された半田市みどりのまちづくり条例に基づき、思い出づくりと緑化意識の向上を目的として実施しています。これまで196本の記念植樹を実施しました。

問 記念植樹の場所や樹種をホームページで見てへるよう改善を提案しすがいかがですか。

答 今後は過去の植樹事例紹介、樹種や場所の選定法、費用構成の説明など、ホームページでの情報提供の充実に取組んでいきます。



ま

子

中村和也議員
（つなぐ未来）

民間住宅耐震事業の補助対象見直し

問 1981年6月以前に建築された旧耐震の木造住宅の造築２

答 旧耐震基準の住宅は、耐震性能が低い場合が多く、大規模地震時に倒壊する危険性が高いため、耐震改修の補助対象としてきました。しかし近年、熊本地震などの被害調査で新耐震基準の住宅も一定の被害があったことが明らかになっています。令和8年3月に愛知県は建築物耐震改修促進計画を改定し、新耐震基準の住宅についても耐震化の取組を促進することとしました。本市も地震被害の軽減を図るため調査・研究を進めているところであり、支援の在り方等は国や愛知県の動向を注視しながら判断していきます。

築された新耐震基準の住宅を含めることを提案します。この場合、年間の無料耐震診断は旧耐震基準の住宅を8割、新耐震基準の住宅は2割で実施して欲しいと思いますが市の見解を伺います。

問 耐震改修の補助対象に1981年6月から2000年5月までに建

てが２てで修２答

宅の造築２問

宅宅

交通安全対策と部活動等における
移動手段への支援に関する質問

別紙参照

議案の審議結果　令和８年第５回定例会（令和８年８月２７日～１０月６日）

※審議の内容については、５ページのＱＲコードから会議録をご覧ください。

①本会議　②予算委員会　③決算委員会　※①③は１１月下旬に公開の予定

④総務委員会　⑤文教厚生委員会　⑥建設産業委員会

■全会一致で可決した案件

議案番号等	議案名	会議録
５２	令和８年度半田市一般会計補正予算第４号	②
５４	令和８年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第１号	②
５６	**半田市立認定こども園条例等の一部改正について** 議案Pick Up	⑤
５７	半田市ふるさと景観条例の一部改正について	④
５８	半田市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	⑥
５９	半田市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	④
６０	**半田市知多半田駅前再開発ビル駐車場の指定管理者の指定について** 議案Pick Up	⑥
６１	**アイプラザ半田の指定管理者の指定について** 議案Pick Up	⑥
６２	**半田空の科学館・半田市体育館の指定管理者の指定について** 議案Pick Up	⑤
６３	**半田福祉ふれあいプールの指定管理者の指定について** 議案Pick Up	⑤
６４	**青山記念武道館の指定管理者の指定について** 議案Pick Up	⑤
６５	**半田市成岩地区総合型地域スポーツクラブハウスの指定管理者の指定について** 議案Pick Up	⑤
６６	令和７年度半田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	⑥
６７	令和７年度半田市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	⑥

議案Ｐｉｃｋ　Ｕｐ

議案第56号　半田市立認定こども園条例等の一部改正について

幼保連携型認定こども園に半田市立成岩こども園を追加するものなど

議案第60号から65号で指定した指定管理者について

60号：株式会社はんだ
販わいビル開発

61号：特定非営利活動法人
半田市観光協会

62号：アクティオ株式会社

63号：株式会社スポーツプラザ
報徳

64号：三幸株式会社

65号：特定非営利活動法人
ソシオ成岩スポーツクラブ

議案番号等	議案名	会議録
68	半田市教育委員会の委員の任命について 議案Pick Up	①
69	半田市監査委員の選任について 議案Pick Up	①
認定2	令和７年度半田市水道事業会計歳入歳出決算の認定について	③
認定3	令和７年度半田市下水道事業歳入歳出決算の認定について	③

議案第68号半田市教育委員会の委員の任命について

委員２名の任期満了に伴い、引き続き堀崎隆資氏、新たに間瀬恵子氏を任命するもの

議案第69号半田市監査委員の選任について

監査委員の任期満了に伴い、新たに前田晃教氏を選任するもの

■その他の案件

議案番号等	議案名	会議録
報告15	専決処分の報告について（公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定）	①
報告16	専決処分の報告について（道路管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定）	①
報告17	令和７年度半田市決算に係る健全化判断比率について	①
報告18	令和７年度半田市公営企業決算に係る資金不足比率について	①
報告19	令和7年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計継続費の精算報告につい	①
報告20	知多南部卸売市場株式会社の経営状況について	①
報告21	地方独立法人知多半島総合医療機構の経営状況について	①

会議録

QR ④総務委員会
QR ①本会議
QR ⑤文教厚生委員会
QR ②予算委員会
QR ⑥建設産業委員会
QR ③決算委員会

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	会議録	創造みらい半田												公明党			つなぐ未来		チャレンジはんだ		無所属			議決結果
			澤田勝	山本裕介	芳金秀展	鈴木英華	田中嵩久	竹内功治	鈴木幸彦	榊原瑞輝	渡邉昭司	沢田清	岩田玲子	石川英之	山田清一	坂井美穂	麻生七海	中村和也	小出義一	伊藤正興	國弘秀之	有留麻由	新美保博	加藤美幸	
53	令和８年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第１号	②	議長	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	可決
55	令和８年度半田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算第１号	②	議長	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	可決
認定1	令和７年度半田市一般会計等歳入歳出決算の認定について	③	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	認定

※１：議長は表決に加わらない。　２：○は賛成の議員、●は反対の議員、欠は欠席

反対討論（議案第53号・55号）

有留　麻由議員

マイナ保険証は既に約８割の人が利用しています。「利用しない、したくない、できない」の選択も尊重すべきであるため、53号での更なる利用促進には反対です。また、55号は子ども・子育て支援金徴収システム改修の償還金ですが、本来医療を支える医療保険の仕組みを利用し広く国民から徴収する制度そのものに賛同できず反対です。

反対討論（認定第1号）

有留　麻由議員

石塚地区工業団地や道の駅事業、半田病院の独立法人化は、必要性や公益性から市民生活への影響に懸念があり、将来的な負担増につながりかねません。また、滞納整理機構や後期高齢者医療保険の税率の引き上げ、少子化対策での出会い事業、マイナカード事業などは、多様な市民一人ひとりの暮らしに寄り添う施策とは言えないため反対です。

決算認定議案の審査

９月の定例会では、前年度の予算が適正に執行されたか、その事業内容を決算委員会(総務・文教厚生・建設産業分科会)で審査しました。

各分科会での審査内容について、その一部をお知らせします。

その他の審査内容については、録画配信、又は会議録（１１月下旬に公開予定）をご覧ください。

Q R コード
録画配信（YouTube）

Q R コード
会議録

総務分科会

災害対策事業

問 住民主体の避難所運営訓練を15か所で実施していますが、その成果と課題をどのように考えていますか。

答 避難所にある段ボールベッドなどの資機材を円滑に活用できるようになりました。今後は、安否確認の訓練が不十分であるため、それぞれの避難所で適切に実施できるよう努めていきます。



ふるさと納税事務

問 令和7年度のふるさと納税をどのように評価していますか。

答 市民税の流出額がふるさと納税で得た金額を上回り、財政効果が低かったため、返礼品の数を増やしたり、使い道を工夫したりするなど、対策を強化していきます。



男女共同参画社会推進事業

問 この事業から得られた成果は何ですか。

答 講座等を開催することにより市民の男女共同参加への理解を促進することができました。今後は、民間企業や自治区において実践的な取組が行われるよう働きかけていきます。



情報公開・個人情報保護事務

問 令和7年度に実施した再発防止策をどのように評価していますか。

答 一定の効果があったと捉えていますが、依然として、情報漏えいが発生しているため、引き続き対策を実施していきます。



文教厚生分科会

広報事務

問 市公式ホームページへのアクセス数が目標に達していない要因をどう分析していますか。

答 AIの発展により、ホームページを直接閲覧しなくても必要な情報が得られるようになったためと考えています。



DX推進事業

問 行政手続のオンライン化の進捗はどのようですか。

答 申請件数が多い行政手続を重視してオンライン化を進めた結果、目標値を達成することができました。



予防接種事業

問 増額補正した予防費でなぜ約1億円もの不用額が生じましたか。

答 新型コロナワクチンやインフルエンザワクチンの予防接種費用が、当初の見込みを下回ったためです。



老人ホーム入所事業

問 増額補正した予算でなぜ多額の不用額が生じましたか。

答 年度末にかけて半田養護老人ホーム入所措置等の対象者数が減少したことによるものです。



文教厚生分科会

国民健康保険事業

問 保険給付費でなぜ4億円以上の不用額が生じましたか。

答 一人あたりの医療費は上昇しましたが、被保険者数が年間約1千人減少したことによるものです。



老人クラブ活動助成事業

問 クラブ数が59から38クラブへ減少した要因と今後の対策をどのように考えていますか。

答 新規入会者の減少や、会員減に伴う解散・統合がクラブ数減少の主な要因です。シニアクラブへの名称変更など、時代に合わせたあり方を検討しています。



学校給食食材購入事業

問 食材の地産地消比率の実績が大幅に下回ったのはなぜですか。

答 物価高騰への対応として予算内での献立調整を優先した結果、比較的価格の高い地元食材の選定頻度が低下したためです。



いじめ・不登校対策事業

問 早期発見・対応の成果をどのように把握していますか。

答 いじめの認知件数と不登校の児童生徒数の推移は把握していますが、支援を行った具体的な人数を統計的に把握することはしていません。



建設産業分科会

諸証明事務事業

問 証明書等のコンビニ交付率が過去最高となりましたが、コンビニ交付は窓口業務の改善につながりましたか。

答 コンビニでの交付件数の増加により、窓口における混雑が緩和され、また、業務負担も軽減されました。



6次産業化農業者支援プロジェクト事業

問 知多半島農家マルシェへは農産物の高付加価値化や販路拡大、農業者の所得向上にどの程度効果があったと考えていますか。

答 参加農家へ実施しているアンケートにおいて、一部の農家では10%から20%程度の売上の向上が見られており、販路拡大や所得向上への効果が少しずつ現れていると考えています。



地域猫活用支援事業

問 地域猫活動に登録している団体が少なく、拡充が必要と考えますが、制度の見直しなどを検討しましたか。

答 団体が設立されても、不妊・去勢手術などのノウハウを持たない団体もあるため、これらのノウハウを持つ団体が地域外の団体を支援できるようにすることや、手術に対する補助要件の緩和などを検討しています。



中心市街地活性化事業

問 中心市街地を訪れた人数が、増加した要因をどのように分析していますか。

答 「ココリン」が年間を通じて多くの来場者を集めたことに加え、「発酵ツーリズム東海」など、市内外から多くの人が訪れるイベントが開催されたことが、人数の増加につながったと考えています。



名鉄河和線連続立体交差化事業

問 予備調査ではどのようなことを実施しましたか。

答 令和8・9年度に国の補助金で本格的な調査を行うため、県や国との調整や申請に必要となる事前準備として、事業の費用対効果や、沿線のまちづくり上の課題、それらを事業でどのように解決できるか等について検討を行いました。



有価資源回収奨励事業

問 高齢化や担い手不足等により、資源回収団体が減少していますが、事業の拡充に向け、どのような取組みを行いましたか。

答 民間事業者が地域に回収容器を設置し、資源回収を行っているため、これらの事業者と地域をつなぎ、活動の負担を軽減する方法を検討しています。



議会事業評価の結果

本年度は、決算審査の対象となる事業の中から複数の事業を様々な視点から選定し評価を行いました。また、その評価結果は、10月に市長へ提言として報告しました。

事業評価に関する詳細な内容は、ホームページでご確認ください。

Q R コード

総務委員会

1．STATION Ai活用事業（企画課）

事業の内容	行政運営に係る計画の推進や質的改善を図るために、STATION Ai を最大限に活用した情報 収集を行う。また、地域課題や行政課題、市内事業者の課題を、STATION Ai に入居しているスタートアップ企業と共に解決し、市民サービスの向上と業務の効率化等を図る。
事業評価（方向性）	**おおむね適正である（拡充する）**
事業への提言	①速やかに、庁内の行政課題を幅広く把握し、課題解決による効果や実現可能性を踏まえて、取り組む課題に優先順位をつけ、解決すべき内容を具体化した上で、適切な企業とのマッチングにつなげること。 ②令和9年度までに、地域課題の解決にどの程度結びついたかなど事業の成果を把握するため、担当課との協議回数や実証実験の回数、事業化に至った件数などの成果指標（KPI）を設定すること。 ③令和9年度までに、実証実験や協議、事業化に至らなかった要因を分析することで、課題整理を行い、その課題を情報共有する仕組みを構築すること。



2．人事管理事務（人事課）

事業の内容	社会情勢の変化に伴う市民ニーズに対して、的確かつ柔軟に対応でき、新たな変革にチャレンジできる組織作りに努める。また、能力と実績が適正に評価され、職務に意欲的に取り組むことができる人事制度の確立に努めるとともに、心身ともに健康で個々の能力が十分に発揮できる環境整備を進める。
事業評価（方向性）	**おおむね適正である（拡充する）**
事業への提言	①令和9年度までにアンケート結果だけでなく、「休職者数」「離職率」「時間外勤務時間」などの客観的なデータを成果指標として設定すること。また、令和8年度に見直した伴走支援（生成AI活用やグループコーチング等）の効果を検証し、成果指標に基づき、効果的な職場環境改善に繋がっているか分析すること。 ②次回アンケートを実施するまでに、アンケート未回答の要因を分析し、回答率向上の取組みを行うこと。 ③速やかに、職員の意欲向上に取組み、働きやすい職場環境の整備を行うため、課題に対して改善した事例や職員の活動事例など良い事例を庁内に展開する仕組みを整えること。



文教厚生委員会

1．ファミリーサポート推進事業（こども育成課）



事業の内容	子育ての手助けが必要な方（依頼会員）と子育ての手助けをしたい方（援助会員）をつなぎ、地域で子育てを助け合う相互援助活動であるファミリーサポート事業の利用促進を図る。
事業評価（方向性）	**おおむね適正である（拡充する）**
事業への提言	①令和９年度からは、成果指標を見直して、実活動援助会員数、利用世帯数、マッチング率、利用者満足度、再利用率などを指標とし、市民ニーズを把握できるよう改めること。 ②令和９年度からは、従来の対面による依頼会員の登録手続きに加え、オンライン化を導入することで対面手続きの手間を軽減し、登録希望者の負担軽減を図るとともに、他の子育て支援事業との連携を深め、利用者の満足度向上を目指す。 ③令和９年度からは、子育て世帯への周知が進み利用されるように、ＳＮＳなどのデジタル媒体を活用した情報発信を強化するとともに、利用者の声を公開することで事業に対する安心感を持ってもらえるよう、効果的な周知と利用促進を図ること。

2．健康づくり推進事業 （健康課）



事業の内容	健康増進法・自殺対策基本法、第３次健康はんだ21計画・第２次半田市自死対策計画に基づき、健康寿命の延伸及び自殺者の減少のため、年齢を問わず市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを推進する。
事業評価（方向性）	**おおむね適正である（拡充する）**
事業への提言	①令和９年度は、「健康はんだ２１計画」の健康増進分野の指標を成果指標に反映し、特定検診の受診率や生活習慣、健康マイレージアプリの利用状況など、市民の健康状態や行動内容を評価できる成果指標に見直すこと。 ②令和９年度は、健康マイレージアプリや公式ＬＩＮＥなどのデジタル媒体の活用や、地域団体・企業との連携を強化し、健康づくり事業を積極的に周知することで、現在健康な方でも健康に対して関心が低い市民の意識改革に繋がる環境整備を進めること。

3．生活困窮者自立支援事業（生活援護課）



事業の内容	生活困窮者自立支援法に基づき、就労や心身の状況、地域社会との関係性、その他の事情により、現に生活に困窮する方（離職、ホームレス、生活苦、多重債務、ひきこもりなど）からの相談に幅広く対応し、早期自立に向けた包括的な支援を行う。
事業評価（方向性）	**おおむね適正である（拡充する）**
主な提言（抜粋）	①令和９年度からは、相談件数などの活動指標だけでなく、自立相談支援事業を始めとした各種事業を通して、市民の生活の改善を示した成果指標へ見直すこと。 ②令和９年度からは、支援を必要とする方々の潜在的なニーズや困窮状態にある方を早期に把握し、アウトリーチ活動を強化するとともに、関係機関との連携強化や地域ネットワークの充実を図り、「くらし＆住まい相談室」などの相談窓口の周知も進めること。 ③令和９年度からは、本事業の専用タブレット端末を導入し、動画等を用いた分かりやすい説明による相談者の理解促進と、記録・報告業務の効率化を図ることで、より効果的で効率的な支援体制の構築を目指すこと ④令和９年度からは、支援終了後一定期間にわたる効果検証を実施し、再困窮の防止に努めること 。

建設産業委員会

1．就農者支援事業（農政課）



事業の内容	農業従事者の高齢化が急速に進展するなか、持続的可能な農業を実現するためには、青年等の新規就農を増やしていく必要がある。経営の不安定な就農初期段階の新規就農者に対して、農業次世代投資事業補助金・新規就農者育成総合対策事業補助金を交付する。また、PRを強化し、新規就農者を確保する。
事業評価（方向性）	**問題がある（拡充する）**
事業への提言	①令和９年度は、市独自の新規就農者支援補助制度を創設し、畑地における農業用水の確保や初期投資の負担軽減を支援すること。共同井戸、ため池・貯水槽、ポータブル給水設備等、半田市の農業環境に応じた支援方法を検討すること。 ②令和９年度は、成果指標を「認定新規就農者数」から、認定の有無を問わない新規就農者数（法人による新規参入を含む）へ見直し、事業の実態を適切に把握できる指標とすること。 ③令和８年度中に、就農相談から実際の就農に至った実績を把握する追跡調査の仕組みを構築し、相談段階での離脱要因を分析するとともに、就農につながる支援の充実を図ること。

2．地域脱炭素移行・再エネ推進事業（環境課）



事業の内容	2050 年の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指した取り組みを推進するため、環境省の交付金 を活用し、公共施設への太陽光発電設備等の導入を進める。行政が地球温暖化対策に対する率先行動を示すことで、太陽光発電設備等導入の民間施設や農地等への波及を図り、市全体の脱炭素社会の推進を図る。
事業評価（方向性）	**問題がある（拡充する）**
事業への提言	①令和９年度は、公共施設と市域全体の取組について、それぞれの目的・成果指標・目標値を整理するとともに、PPA導入施設数、太陽光発電導入容量（kW）、補助金交付件数等、具体的で分かりやすい成果指標を設定すること。また、2030年度以降・2050年に向けた削減シナリオを検討すること。 ②令和９年度は、民間事業者への再生可能エネルギー設備導入を促進するため、金融機関や半田商工会議所等との連携を強化し、セミナー・ワークショップや対面での情報提供等、事業者が制度を利用しやすいPR手法へ見直すこと。 ③令和９年度は、ため池・貯水池等の未活用公共用地や農地等の遊休地を活用した再生可能エネルギーの導入を推進し、PPA方式等の民間資金も活用しながら、公共施設以外への導入拡大を図ること。

3．老朽化建築物取壊促進・空家対策事業 （建築課）



事業の内容	大地震時に倒壊し、二次災害を引き起こす可能性の高い老朽化建築物やブロック塀の取壊・撤去補助の実施及び空家の適正管理を促進することで減災化を図る。
事業評価（方向性）	**おおむね適正である（拡充する）**
事業への提言	①令和９年度は、相続や所有者死亡を契機とした空き家の発生を抑制するため、相続登記・財産管理・生前整理等に関する相談・啓発を充実させ、お悔やみ手続き等の機会を活用した周知を強化するとともに、関係部署との連携によって事業をより一層推進させること。 ②令和９年度は、宅建協会等との連携を強化し、空き家の利活用・流通を促進すること。成果指標として空き家バンクの成約件数等を追加すること。 ③令和９年度は、民間住宅耐震事業と老朽化建築物取壊促進事業について、地震対策という共通の目的を踏まえて、効率的かつ分かりやすい事業体系とすること。

特別委員会の年間調査テーマ

半田市議会では、市の課題解決に向けて調査・研究を行う特別委員会を立ち上げ、市に提言をしています。

本年度の調査テーマは以下のとおりです。

いじめ解消調査特別委員会



国内におけるいじめは、認知件数や重大事態が過去最多の水準にあり、深刻な状況となっています。いじめは、子どもの命と尊厳を脅かす重大な人権問題であり、長期化・重大化を防ぐには、学校や教育委員会の対応に加え、学校外から子どもや保護者を支える仕組みが重要です。当委員会では、学校外からの相談・支援の仕組みに関する事例を調査研究し、いじめの兆候を早期に発見し、その行為を速やかに停止させ、解消につなげる体制の構築を検討していきます。

共生のまちづくり推進調査特別委員会



これからのまちづくりでは、共生社会の実現に向け、多様な市民が安心して訪れ、交流できる環境を地域の中に整備していくことが求められます。公園は現在も多くの人が集う交流の場でありますが、今後は単なる「遊びの場」ではなく、障害の有無、年齢、性別などに関係なく多様な市民が利用できるインクルーシブな遊び場として整備していく必要があります。当委員会では、共生社会に向けた取組みとしてインクルーシブ公園を中心としたまちづくりについて調査研究していきます。

勉強会を行いました。

テーマ

「（仮称）名鉄河和線連続立体交差化事業について」

学びのポイント

定例会のお知らせ

■１２月定例会：会期１２月　８日（火）～１２月１８日（金）
■　３月定例会：会期　２月１８日（木）～　３月３１日（水）
※両定例会の日程は、約１週間前の議会運営委員会で決定します。
　詳細な日程は、ホームページでご確認ください。

挿絵

QR 議会本会議の予定へ

本会議を議場で傍聴しませんか。

※傍聴の手続きは、難しくありません。市役所５階の傍聴ロビーで受付表にお名前と住所をご記入いただくだけです。

本会議はYouTubeでLive配信をしています。
（過去の本会議もご覧いただけます。）

９月定例会では、決算委員会の録画配信を試行しました。
３月の定例会では、予算委員会の録画配信を予定しています。

QR 本会議（YouTube）

QR 決算委員会（YouTube）

表紙について

「おっかわちょっこり」は、市内12か所のこども食堂の中で最初に開設され、今年で10周年を迎えました。「ちょっこり」という名前は、地域で親しまれている「ちょっと来りん」からきており、愛称として「おっちょこ」と呼ばれています。

「おっちょこ」は月2回開催されており、訪問した日は、笑顔が素敵なスタッフ5人が手際よくカレーライスを作り、お惣菜を皿に盛り付けていました。こども食堂は、運営スタッフだけでなく、食材の寄付など様々な支援者の協力によって成り立っています。この日は中間テストが近いため、普段より少し少ない約50人のこどもたちが訪れていました。

こども食堂は食事を提供するだけでなく、こどもたちが交流し、人とつながる大切な居場所でもあります。また、スタッフをはじめとした大人との交流も、こどもたちの健やかな成長につながっていると感じました。食事を終えたこどもたちは自ら机を拭き、皿を片付け、「ありがとう」と笑顔で部屋を出ていきました。その姿から、地域の人々が子どもを温かく見守り育てていること、そしてこども食堂の活動の意義を改めて実感しました。（竹内）

あ　と　が　き

今回の議会だよりでは、9月定例会の決算認定議案の審査における主な質疑と議会事業評価における評価と提言を、イラストなどを添えてご紹介しました。ご覧いただき、以前よりも分かりやすくなったと感じていただけたなら幸いです。

また、市議会では、今回の議案審査から新たな取組として動画配信を始めました。動画では、誌面で伝えきれない審査の雰囲気や、議員の様々な視点、時には人柄も感じられるかもしれません。「どんな審査が行われているのか知りたい」と少しでも議会に関心を持っていただけたら、ぜひこの広報誌と併せて動画もご覧ください。

誌面の改善など今回の新しい試みが、市民の皆さまに市議会をより身近に感じていただくきっかけになることを願っています。（鈴木）

議会広報誌編集委員会

委 員 長　山田　清一
副委員長　鈴木　英華
委　　員　小出　義一／竹内　功治
　　加藤　美幸／沢田　清

編集・発行　半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町２－１
TEL:0569-84-0694
FAX:0569-24-7185
E-mail:giji@city.handa.lg.jp

QR 半田市議会へ